

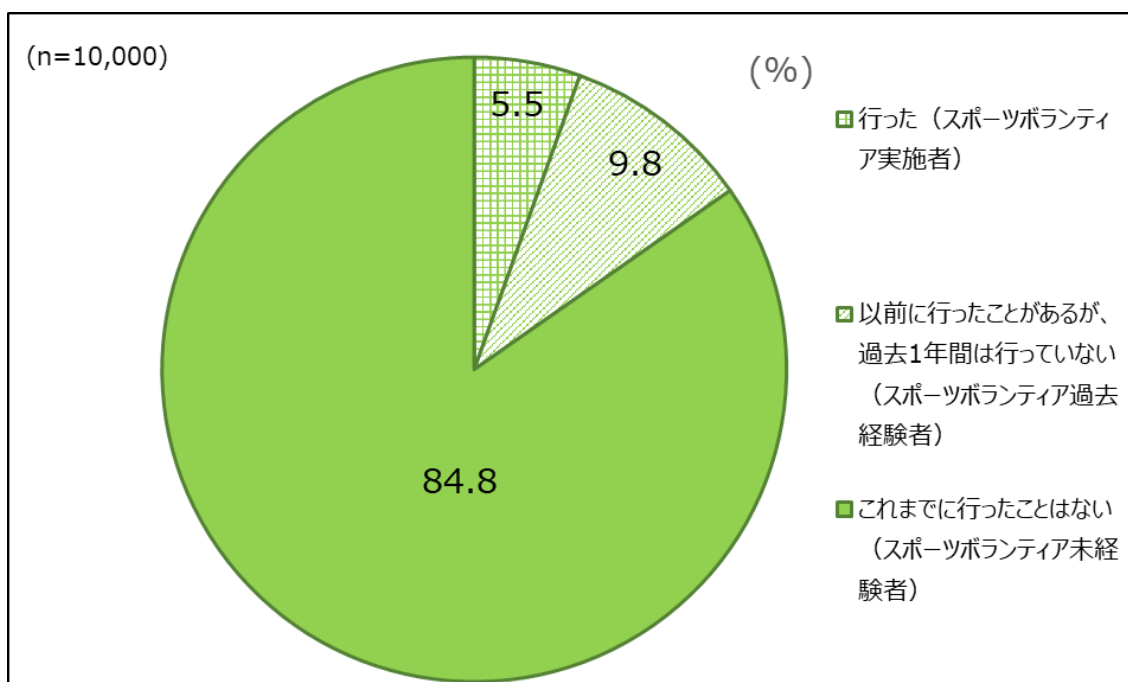
2. 調査結果

1) スポーツボランティアの実施状況

過去1年間のスポーツボランティア実施状況についてたずねた。過去1年間にスポーツボランティア活動を「行った」者（スポーツボランティア実施者）は5.5%、「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」者（スポーツボランティア過去経験者）は9.8%、「これまでに行ったことはない」者（スポーツボランティア未経験者）は84.8%であった（図表1）。

図表1 過去1年間のスポーツボランティア実施状況

あなたは、過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行いましたか。（1つ選択）



性別にみると、男性ではスポーツボランティア実施者が7.6%、スポーツボランティア過去経験者が11.6%であるのに対し、女性では実施者3.3%、過去経験者7.9%となっており、スポーツボランティアの実施者、過去経験者は男性が女性より多い（図表2）。性・年代別にみると、スポーツボランティア実施者は、男性で20代、30代、女性で20代が多く、スポーツボランティア過去経験者は、男性、女性ともに20代、60代が多くなっている。

図表2 過去1年間のスポーツボランティア実施状況（性・年代別）

あなたは、過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行いましたか。（1つ選択）

	(%)		
	実施者 （スポーツ ボラン ティ ア）	過去1年 間に行 った ボラン ティ ア活 動が ある 人	過去1年 間に行 った ボラン ティ ア活 動が ない 人
全体（n=10,000）	5.5	9.8	84.8
男性全体（n=5,020）	7.6	11.6	80.8
男性20代（n=796）	12.3	14.1	73.6
男性30代（n=966）	9.3	8.8	81.9
男性40代（n=1,189）	6.0	9.3	84.8
男性50代（n=956）	5.6	11.9	82.4
男性60代（n=1,113）	6.4	14.5	79.2
女性全体（n=4,980）	3.3	7.9	88.9
女性20代（n=756）	4.9	9.7	85.4
女性30代（n=937）	2.7	7.0	90.3
女性40代（n=1,162）	2.9	7.2	89.8
女性50代（n=956）	2.8	6.2	91.0
女性60代（n=1,169）	3.3	9.5	87.2

2) スポーツボランティアの活動内容

過去1年間にスポーツボランティア活動を「行った」者（スポーツボランティア実施者）と、「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」者（スポーツボランティア過去経験者）に、具体的な活動内容をたずねた。

スポーツボランティア実施者とスポーツボランティア過去経験者がこれまでに行ったことがある活動で最も多いのは、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」の47.7%で、以下、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」（32.9%）、「【日常的な活動】スポーツの指導」（29.3%）が続く（図表3）。

スポーツボランティア実施者が過去1年間に行った活動では、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」が40.8%で最も多く、以下、「【日常的な活動】スポーツの指導」（33.2%）、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」（26.0%）の順となっている。

過去1年間のスポーツボランティア活動の平均実施回数をみると、最も多いのは、「【日常的な活動】スポーツの指導」の17.0回で、以下、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」（11.0回）、「【日常的な活動】スポーツの審判」（7.4回）が続く。実施者が最も多かった「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」は3.0回、「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」は2.3回であり、スポーツイベントのボランティアは、多くの人にとって、年1～数回の限られた機会であることがわかる。

図表3 スポーツボランティア実施者および過去経験者の活動内容別実施状況

これまでに/過去1年間にあなたが行ったことのあるスポーツボランティア活動は何ですか。（それぞれ複数選択可）

ボランティア活動の内容	スポーツボランティア 過去経験者+実施者	スポーツボランティア実施者	
	これまでに 行ったことがある活動	過去1年間に 行った活動	平均実施回数
	n=1,521	n=546	
【日常的な活動】スポーツの指導	29.3%	33.2%	17.0回
【日常的な活動】スポーツの審判	24.7%	18.7%	7.4回
【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話	32.9%	26.0%	11.0回
【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い	25.2%	19.8%	6.6回
【地域のスポーツイベント】スポーツの審判	18.1%	13.7%	4.9回
【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話	47.7%	40.8%	3.0回
【全国・国際的スポーツイベント】スポーツの審判	5.3%	2.7%	4.5回
【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話	16.2%	13.4%	2.3回
その他	2.7%	2.6%	4.1回

スポーツボランティア実施者とスポーツボランティア過去経験者がこれまでに行ったことがある活動を性別にみると、「【日常的な活動】スポーツの指導」、「【日常的な活動】スポーツの審判」、「【地域のスポーツイベント】スポーツの審判」において、男性の割合が女性の2倍以上となっている（図表4）。一方、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」では、男性45.0%に対して女性52.3%と女性の割合が大きく、活動内容により実施経験に男女差がみられる。

性・年代別にみると、男性では、「【日常的な活動】スポーツの指導」は20代が多く、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」と「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」は、40代～60代が多かった。また、女性では、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」において、50代、60代の活動経験者が多くなっている。

**図表4 スポーツボランティア実施者および経験者の活動内容別実施状況
（これまでに行ったことがある活動：性・年代別）**

これまでに／過去1年間にあなたが行ったことのあるスポーツボランティア活動は何ですか。（それぞれ複数選択可）

	ス ポ ー ツ の 指 導 （ 日 常 的 な 活 動 ）	ス ポ ー ツ の 審 判 （ 日 常 的 な 活 動 ）	世 話 （ 団 体 ・ ク ラ ブ の 運 営 や ）	手 伝 い （ 日 常 的 な 活 動 ）	ス ポ ー ツ の 指 導 （ 日 常 的 な 活 動 ）	ス ポ ー ツ の 審 判 （ 地 域 の ス ポ ー ツ イ ベ ン ト ）	の 運 営 や 世 話 （ 地 域 の ス ポ ー ツ イ ベ ン ト ）	の 審 判 （ 全 国 ・ 国 際 的 な ス ポ ー ツ イ ベ ン ト ）	ベ ン チ ン の 運 営 や 世 話 （ 全 国 ・ 国 際 的 な ス ポ ー ツ イ ベ ン ト ）	そ の 他 （ % ）
全体（n=1,521）	29.3	24.7	32.9	25.2	18.1	47.7	5.3	16.2	2.7	
男性全体（n=966）	39.0	31.0	34.1	26.4	22.8	45.0	5.9	15.5	2.0	
男性20代（n=210）	44.3	32.9	29.0	24.3	21.4	34.3	8.1	15.2	2.9	
男性30代（n=175）	34.3	26.3	29.1	25.7	18.3	41.7	5.1	13.1	1.1	
男性40代（n=181）	37.6	29.3	37.0	30.4	24.3	44.2	7.2	18.8	1.7	
男性50代（n=168）	38.7	37.5	35.1	24.4	25.0	48.8	4.8	13.1	3.0	
男性60代（n=232）	39.2	29.3	39.2	27.2	24.6	55.2	4.3	16.8	1.3	
女性全体（n=555）	12.4	13.7	31.0	23.2	10.1	52.3	4.1	17.5	4.0	
女性20代（n=110）	16.4	20.9	15.5	26.4	14.5	51.8	6.4	16.4	5.5	
女性30代（n=91）	14.3	16.5	33.0	31.9	12.1	35.2	5.5	19.8	3.3	
女性40代（n=118）	10.2	11.0	32.2	19.5	5.1	53.4	2.5	16.1	5.9	
女性50代（n=86）	10.5	14.0	44.2	26.7	10.5	57.0	2.3	17.4	2.3	
女性60代（n=150）	11.3	8.7	32.7	16.7	9.3	59.3	4.0	18.0	2.7	

3) スポーツ以外のボランティアの実施状況

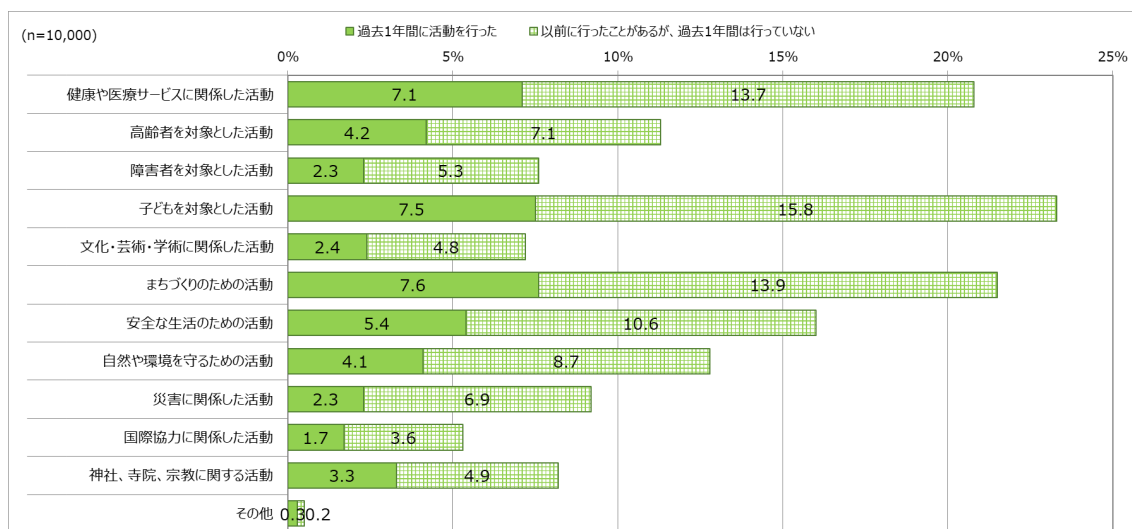
過去1年間のスポーツ以外のボランティア活動の有無について、活動内容別にたずねた。活動分類は、総務省「社会生活基本調査」の調査票の10項目をもとに、その一つである「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」からスポーツを除き、「文化・芸術・学術に関係した活動」に変更したほか、「神社、寺院、宗教に関する活動」を加えた11項目とした。

過去1年間に行った活動で最も多いのは、「まちづくりのための活動」の7.6%で、以下、「子どもを対象とした活動」(7.5%)、「健康や医療サービスに関係した活動」(7.1%)、「安全な生活のための活動」(5.4%)、「高齢者を対象とした活動」(4.2%)などの順となっている(図表5)。

スポーツ以外のボランティア活動を、「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」と回答したボランティア過去経験者についてみると、最も多いのは「子どもを対象とした活動」(15.8%)で、以下、「まちづくりのための活動」(13.9%)、「健康や医療サービスに関係した活動」(13.7%)などが続く。

図表5 スポーツ以外のボランティア活動の実施状況

あなたは、過去1年間に、以下に示すスポーツ以外のボランティア活動を行いましたか。(それぞれ1つずつ選択)



スポーツ以外のボランティア活動の実施状況を性別にみると、過去1年間に行った活動では、「子どもを対象とした活動」と「高齢者を対象とした活動」を除いて、男性の割合が女性よりも大きい(図表6)。「子どもを対象とした活動」について、実施者と過去経験者を合わせた割合をみると、男性19.4%に対し、女性27.2%となっている。保護者の立場で、男性に比べて多くの女性が子どもに関するボランティア活動をしていると推察される。

性・年代別にみると、男性では、「健康や医療サービスに関係した活動」、「高齢者を対象とした活動」、「障害者を対象とした活動」、「文化・芸術・学術に関係した活動」、「国際協力に関係した活動」は20代が多く、「まちづくりのための活動」、「安全な生活のための活動」は60代が多くなっている。女性では、「高齢者を対象とした活動」と「まちづくりのための活動」は60代が特に多い。また、「子どもを対象とした活動」をみると、過去1年間の実施者は30代、40代が多く、実施者と過去経験者を合わせた活動経験者は、30代20.6%、40代25.9%、50代32.3%、60代35.7%と、年代が上がるにつれて多くなっている。

図表6 スポーツ以外のボランティア活動の実施状況(性・年代別)

あなたは、過去1年間に、以下に示すスポーツ以外のボランティア活動を行いましたか。(それぞれ1つずつ選択)

活動内容	健康や医療サービスに関係した活動		高齢者を対象とした活動		障害者を対象とした活動		子どもを対象とした活動		文化・芸術・学術に関係した活動		まちづくりのための活動	
	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が
全体 (n=10,000)	7.1	13.7	4.2	7.1	2.3	5.3	7.5	15.8	2.4	4.8	7.6	13.9
男性全体 (n=5,020)	9.2	12.8	3.7	6.7	2.4	5.0	6.4	13.0	3.2	4.7	9.1	13.8
男性20代 (n=796)	14.7	12.7	5.9	10.6	4.6	7.4	6.9	11.4	5.4	5.4	8.3	17.2
男性30代 (n=966)	11.0	9.7	3.7	7.0	3.3	4.8	6.8	7.6	3.7	4.5	7.8	10.2
男性40代 (n=1,189)	8.7	14.0	2.9	6.1	1.8	4.5	7.7	10.2	2.1	4.1	7.7	10.6
男性50代 (n=956)	7.8	13.1	2.5	4.7	1.0	4.5	4.9	15.5	2.3	4.3	9.3	13.2
男性60代 (n=1,113)	5.5	14.3	4.2	5.8	2.0	4.3	5.6	19.6	3.1	5.6	12.3	18.2
女性全体 (n=4,980)	4.9	14.6	4.7	7.6	2.2	5.6	8.5	18.7	1.6	4.9	6.1	14.1
女性20代 (n=756)	7.8	12.7	5.7	10.3	3.2	7.3	5.8	12.3	1.6	5.7	4.1	15.3
女性30代 (n=937)	3.6	15.3	2.2	9.0	1.3	4.7	11.0	9.6	1.2	2.9	4.4	11.8
女性40代 (n=1,162)	4.8	12.7	3.0	4.2	1.2	3.7	12.0	13.9	0.9	3.4	5.3	9.7
女性50代 (n=956)	5.2	16.6	4.7	6.2	1.9	5.4	6.1	26.2	2.0	5.6	6.0	16.8
女性60代 (n=1,169)	4.0	15.7	7.7	9.1	3.6	7.1	6.8	28.9	2.1	7.0	9.8	17.1

活動内容	安全な生活のための活動		自然や環境を守るための活動		災害に関係した活動		国際協力に関係した活動		神社、寺院、宗教に関する活動		その他	
	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が	行った	はあ以 行る前 つがに て、行 い過つ な去た い1こ 年と 間が
全体 (n=10,000)	5.4	10.6	4.1	8.7	2.3	6.9	1.7	3.6	3.3	4.9	0.3	0.2
男性全体 (n=5,020)	6.5	10.5	4.9	9.1	3.0	7.0	2.0	3.6	3.6	5.4	0.3	0.2
男性20代 (n=796)	6.8	8.9	6.2	11.8	4.8	8.0	4.4	5.8	3.8	6.5	0.4	0.3
男性30代 (n=966)	5.4	6.9	4.3	7.1	3.3	5.6	2.4	2.8	3.7	4.0	0.4	0.2
男性40代 (n=1,189)	5.0	9.2	4.2	7.2	2.3	6.4	0.9	3.2	2.5	5.4	0.2	0.3
男性50代 (n=956)	5.9	12.0	4.5	8.4	2.1	7.4	1.3	2.7	3.7	5.3	0.1	0.0
男性60代 (n=1,113)	9.3	14.9	5.6	11.7	3.1	7.9	1.6	3.9	4.6	5.9	0.5	0.2
女性全体 (n=4,980)	4.4	10.6	3.4	8.2	1.7	6.7	1.4	3.5	3.0	4.4	0.3	0.2
女性20代 (n=756)	2.2	5.6	2.6	9.5	2.4	5.2	2.1	4.5	2.2	3.6	0.3	0.0
女性30代 (n=937)	3.6	6.0	2.7	8.0	1.1	5.3	0.7	2.5	2.6	2.8	0.2	0.2
女性40代 (n=1,162)	5.0	7.8	2.9	4.6	1.1	4.1	0.9	2.9	2.4	2.8	0.1	0.3
女性50代 (n=956)	4.7	16.9	3.6	10.0	1.8	7.1	1.4	3.2	3.6	6.4	0.4	0.1
女性60代 (n=1,169)	5.5	15.3	4.7	9.8	2.1	11.0	2.2	4.6	3.9	6.2	0.5	0.1

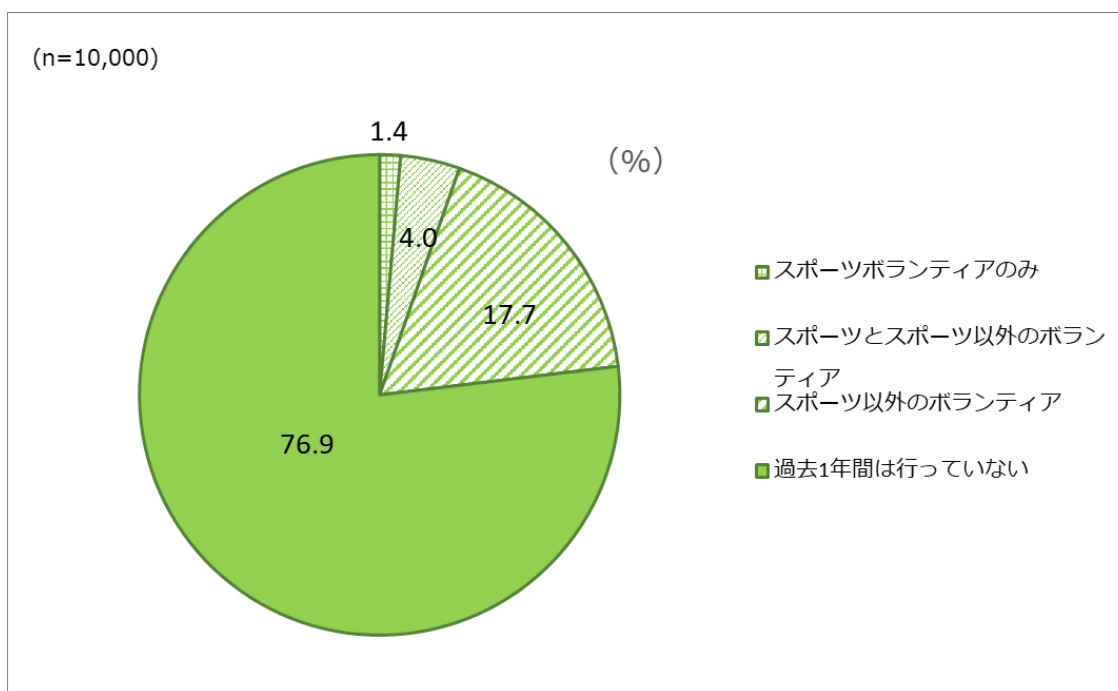
4) ボランティアの実施状況：スポーツとスポーツ以外のボランティアの関係から

ボランティアの実施状況について、スポーツボランティア実施者、スポーツ以外のボランティア実施者とそれぞれの重複実施者の割合をみた。

(1) 過去1年間のボランティア実施状況

過去1年間のボランティア実施状況についてみると、「スポーツ以外のボランティアを実施」が17.7%、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」が4.0%、「スポーツボランティアのみ実施」1.4%であった（図表7）。スポーツボランティア実施者の多くが、スポーツ以外のボランティアと「掛け持ち」して活動していることがわかる。

**図表7 過去1年間のボランティア実施状況：
スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア**



過去 1 年間のボランティア実施状況を性別にみると、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は男性の割合が大きく、「スポーツ以外のボランティアを実施」は女性の割合が大きい（図表 8）。性・年代別にみると、男性、女性ともに、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は 20 代が多く、「スポーツ以外のボランティアを実施」は 60 代が多くなっている。

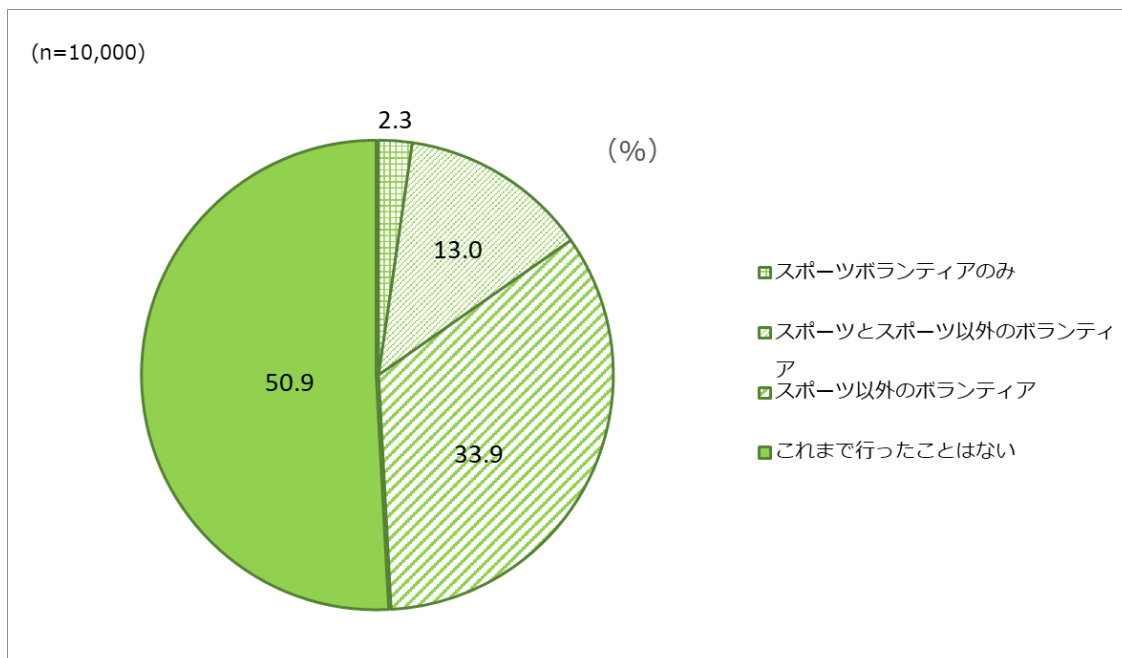
図表 8 過去 1 年間のボランティア実施状況：
スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア（性・年代別）
 (%)

	テ ス ポ ー ツ ボ ラ ン テ ィ ア の み ボ ラ ン テ ィ ア	ラ ポ ー ツ ボ ラ ン テ ィ ア と ス ポ ー ツ 以 外 の ボ ラ ン テ ィ ア	ボ ス ポ ー ツ ボ ラ ン テ ィ ア と ス ポ ー ツ 以 外 の ボ ラ ン テ ィ ア	行 過 つ 去 て 1 年 間 は
全体 (n=10,000)	1.4	4.0	17.7	76.9
男性全体 (n=5,020)	2.0	5.7	16.8	75.5
男性20代 (n=796)	2.6	9.7	13.2	74.5
男性30代 (n=966)	2.2	7.1	14.7	76.0
男性40代 (n=1,189)	1.6	4.4	16.7	77.3
男性50代 (n=956)	1.6	4.1	18.4	75.9
男性60代 (n=1,113)	2.2	4.2	19.9	73.7
女性全体 (n=4,980)	0.8	2.4	18.6	78.2
女性20代 (n=756)	1.5	3.4	14.0	81.1
女性30代 (n=937)	0.6	2.0	16.0	81.3
女性40代 (n=1,162)	0.9	2.1	20.7	76.4
女性50代 (n=956)	0.7	2.1	17.8	79.4
女性60代 (n=1,169)	0.7	2.7	22.2	74.5

(2) これまでのボランティア実施経験

過去1年間のボランティアに限定せずに、過去1年の実施を含めたこれまでのボランティア実施経験についてみると、「スポーツ以外のボランティアを実施」が33.9%、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」が13.0%、「スポーツボランティアのみ実施」2.3%であった(図表9)。スポーツボランティア経験者の8割以上にスポーツ以外のボランティアの経験がある。一方で、これまでにボランティアをまったく実施したことがない未経験者の割合は50.9%となっており、ほぼ半数の成人にスポーツを含む何らかのボランティア経験があることがわかる。

**図表9 これまでのボランティア実施経験：
スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア**



過去1年の実施を含めたこれまでのボランティア実施経験を性別にみると、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は男性の割合が大きく、「スポーツ以外のボランティアを実施」は女性の割合が大きい（図表10）。特に、「スポーツ以外のボランティアを実施」は男性28.5%に対し、女性39.3%と約11ポイント女性の割合が大きくなっている。性・年代別にみると、男性では、「スポーツボランティアのみ実施」と「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は20代が多く、女性では、「スポーツボランティアのみ実施」は20代が多く、「スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティアの両方を実施」は20代と60代が多い。「スポーツ以外のボランティアを実施」は、男女ともに年代が上がるにつれて多くなっている。

**図表10 これまでのボランティア実施経験：
スポーツボランティアとスポーツ以外のボランティア（性・年代別）**

(%)

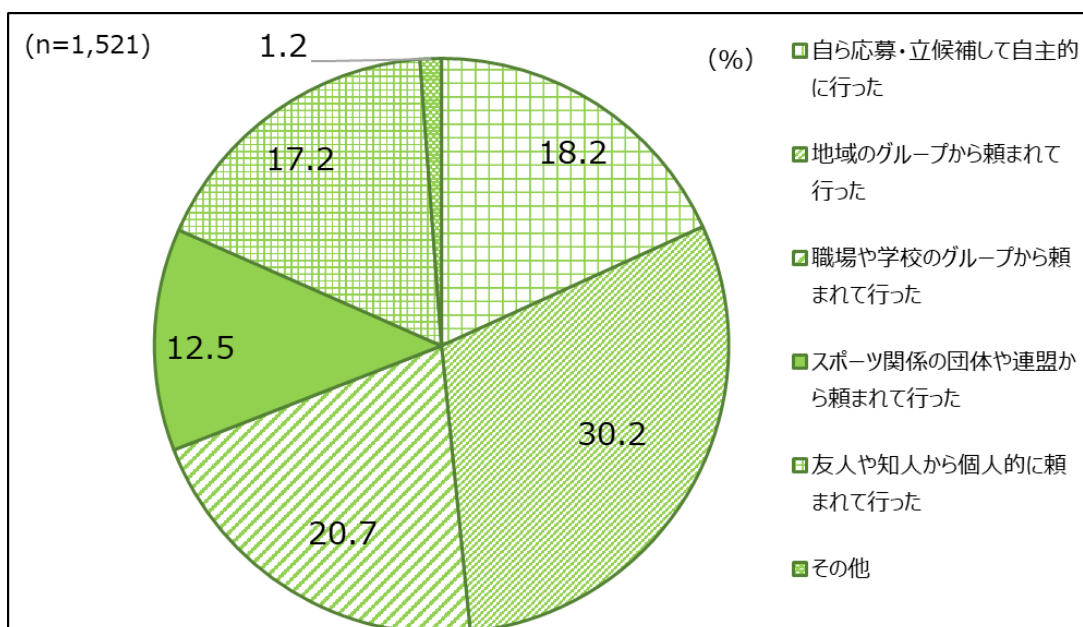
	ス ポ ー ツ ボ ラ ン テ ィ ア の み ボ ラ ン テ ィ ア	ス ポ ー ツ ボ ラ ン テ ィ ア と ス ポ ー ツ 以 外 の ボ ラ ン テ ィ ア	ス ポ ー ツ 以 外 の ボ ラ ン テ ィ ア	こ こ と れ は ま な で い っ た
全体 (n=10,000)	2.3	13.0	33.9	50.9
男性全体 (n=5,020)	2.9	16.3	28.5	52.3
男性20代 (n=796)	4.8	21.6	22.4	51.3
男性30代 (n=966)	2.9	15.2	22.3	59.6
男性40代 (n=1,189)	2.0	13.2	29.3	55.5
男性50代 (n=956)	2.5	15.1	30.5	51.9
男性60代 (n=1,113)	3.0	17.9	35.7	43.5
女性全体 (n=4,980)	1.6	9.6	39.3	49.6
女性20代 (n=756)	2.8	11.8	31.2	54.2
女性30代 (n=937)	1.5	8.2	33.8	56.5
女性40代 (n=1,162)	1.9	8.3	36.4	53.4
女性50代 (n=956)	0.6	8.4	45.4	45.6
女性60代 (n=1,169)	1.3	11.5	46.7	40.5

5) スポーツボランティア活動の経緯

スポーツボランティア実施者と過去経験者に対し、スポーツボランティア活動の経緯をたずねた。最も多かったのは「地域のグループから頼まれて行った」の30.2%で、以下、「職場や学校のグループから頼まれて行った」(20.7%)、「自ら応募・立候補して自主的に行った」(18.2%)などの順となっている(図表11)。スポーツボランティア実施者と過去経験者の約8割が、何らかの組織・団体、グループや友人・知人からの依頼を受けてスポーツボランティア活動を行っていることがわかった。

図表 11 スポーツボランティア活動の経緯

あなたはスポーツボランティア活動を主にどのようないきさつ(経緯)で行いましたか。(1つ選択)



スポーツボランティア活動の経緯を性別にみると、「地域のグループから頼まれて行った」は男性が多く、「職場や学校のグループから頼まれて行った」と「友人や知人から個人的に頼まれて行った」では女性が多くなっている（図表 12）。性・年代別にみると、「自ら応募・立候補して自主的に行った」は 20 代と 30 代の男性が多く、「地域のグループから頼まれて行った」は 60 代の男性と女性、「職場や学校のグループから頼まれて行った」は 20 代の男性と 20 代、30 代、40 代の女性がそれぞれ多い。

図表 12 スポーツボランティア活動の経緯（性・年代別）

あなたはスポーツボランティア活動を主にどのようないきさつ（経緯）で行いましたか。（1つ選択）

(%)

	主 自 的 に 応 募 し た 立 候 補 し て 自	れ 地 域 の グ ル ー プ か ら 頼 ま	ら 職 場 や 学 校 の グ ル ー プ か	盟 ス カ ポ ー ツ 関 係 の 団 体 や 連	頼 ま れ た 友 人 や 知 人 か ら 個 人 的 に	そ の 他
全体 (n=1,521)	18.2	30.2	20.7	12.5	17.2	1.2
男性全体 (n=966)	18.9	33.5	18.6	12.9	15.3	0.6
男性20代 (n=210)	23.8	25.2	26.2	7.1	16.7	1.0
男性30代 (n=175)	27.4	32.0	16.0	10.3	14.3	0.0
男性40代 (n=181)	21.0	29.8	17.1	17.1	14.9	0.0
男性50代 (n=168)	16.1	33.9	19.6	15.5	13.1	1.8
男性60代 (n=232)	8.6	44.8	14.2	15.1	16.8	0.4
女性全体 (n=555)	16.9	24.5	24.3	11.7	20.4	2.2
女性20代 (n=110)	17.3	14.5	35.5	11.8	20.9	0.0
女性30代 (n=91)	14.3	17.6	27.5	15.4	24.2	1.1
女性40代 (n=118)	20.3	18.6	26.3	11.9	20.3	2.5
女性50代 (n=86)	17.4	29.1	19.8	9.3	20.9	3.5
女性60代 (n=150)	15.3	38.0	15.3	10.7	17.3	3.3

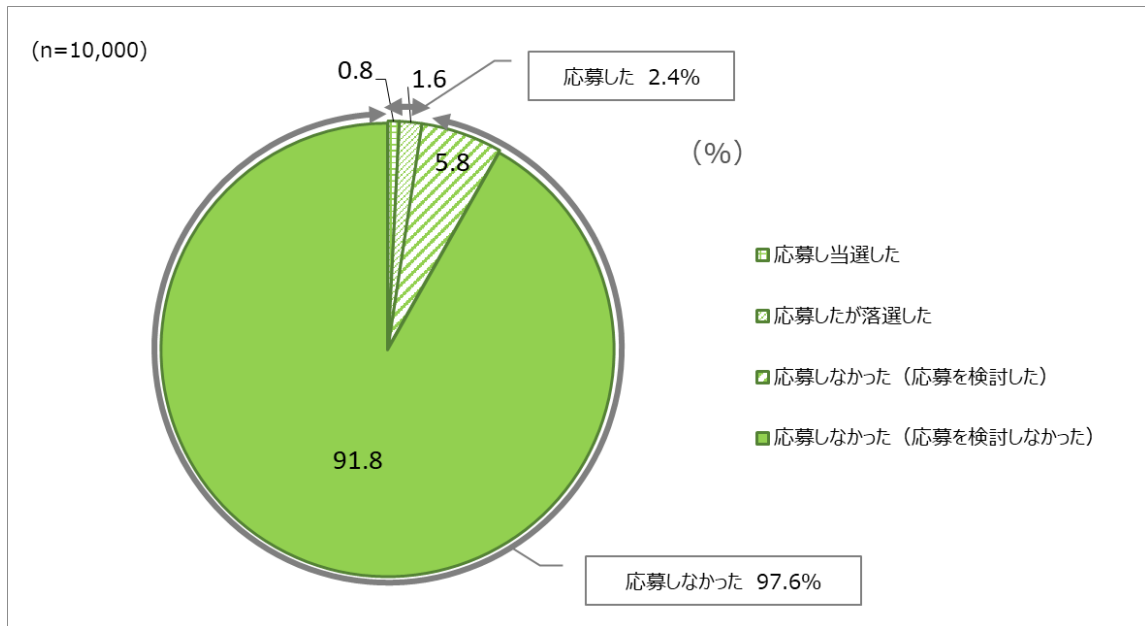
6) ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募状況

2019年9～11月に開催されるラグビーワールドカップのボランティアへの応募状況についてたずねた。ラグビーワールドカップでは、「1万人以上」の募集に対し、3万8,000人の応募があり、このうち1万3,000人がボランティアとして採用されており、多くの落選者が出たことから、当落を含めた応募状況を確認した。

ラグビーワールドカップのボランティアに「応募し当選した」のは0.8%、「応募したが落選した」は1.6%で、全体の2.4%がラグビーワールドカップのボランティアに応募していた(図表13)。「応募しなかった」97.6%のうち、5.8%は応募を検討したが、結果として応募しなかったと回答しており、応募者の倍以上の「応募予備軍」が存在したことがわかった。

図表 13 ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募状況

あなたは、2019年9～11月に開催されるラグビーワールドカップのボランティアに応募しましたか。(1つ選択)



ラグビーワールドカップのボランティアへの応募状況について性別にみると、当選、落選を合わせた「応募した」の割合は男性 3.6%に対し女性 1.2%と、男性が女性の 3 倍となっている（図表 14）。また、「応募しなかった（応募を検討した）」も、男性が女性を上回っている（男性 7.0%、女性 4.5%）。性・年代別にみると、「応募し当選した」「応募したが落選した」「応募しなかった（応募を検討した）」は、男性は 20 代、30 代の順に多く、女性では 20 代が最も多い。ラグビーワールドカップのボランティア応募者は若い年代ほど多いことがわかる。

図表 14 ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募状況（性・年代別）

あなたは、2019 年 9～11 月に開催されるラグビーワールドカップのボランティアに応募しましたか。（1つ選択）

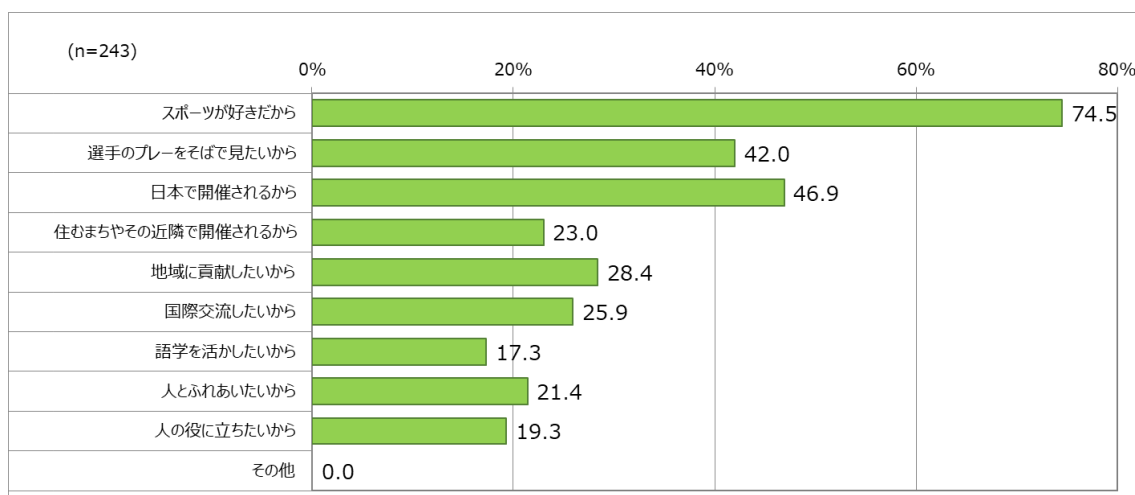
	応募した計			応募しなかった計		
	当選した	落選した	検討しなかった	検討しなかった	検討しなかった	
全体 (n=10,000)	2.4	0.8	1.6	97.6	5.8	91.8
男性全体 (n=5,020)	3.6	1.3	2.4	96.4	7.0	89.4
男性20代 (n=796)	8.7	3.5	5.2	91.3	9.0	82.3
男性30代 (n=966)	4.2	1.8	2.5	95.8	7.3	88.4
男性40代 (n=1,189)	2.6	0.7	1.9	97.4	6.6	90.7
男性50代 (n=956)	2.1	0.4	1.7	97.9	6.0	91.9
男性60代 (n=1,113)	1.8	0.5	1.3	98.2	6.4	91.8
女性全体 (n=4,980)	1.2	0.4	0.9	98.8	4.5	94.2
女性20代 (n=756)	2.5	0.9	1.6	97.5	6.6	90.9
女性30代 (n=937)	1.5	0.4	1.1	98.5	4.2	94.3
女性40代 (n=1,162)	0.9	0.4	0.5	99.1	4.2	94.8
女性50代 (n=956)	1.0	0.1	0.9	99.0	4.2	94.8
女性60代 (n=1,169)	0.7	0.1	0.6	99.3	4.1	95.2

7) ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募理由

ラグビーワールドカップのボランティアへの応募者（落選者を含む）に対し、応募の理由をたずねた。最も多かったのは「スポーツが好きだから」の74.5%で、以下、「日本で開催されるから」（46.9%）、「選手のプレーをそばで見たいから」（42.0%）、「地域に貢献したいから」（28.4%）などの順となっている（図表 15）。ボランティア活動実施希望者に対し、その理由を単一回答でたずねた2018年の調査では、最も多かったのは「日本で開催されるから」（25.8%）で、以下、「スポーツが好きだから」（25.2%）、「選手のプレーをそばで見たいから」（18.1%）の順であり、今回の調査は「スポーツが好きだから」の割合が相対的に高くなっている。

図表 15 ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募理由

あなたがラグビーワールドカップのボランティアに応募した理由を選択してください。（複数選択可）



ラグビーワールドカップのボランティアへの応募理由を性別にみると、「スポーツが好きだから」は男性の割合が大きいですが、その他のほとんどの理由では、女性の割合が男性を上回っている（図表 16）。特に、「地域に貢献したいから」「選手のプレーをそばで見たいから」「人とふれあいたいから」「語学を活かしたいから」では、女性の割合が男性に比べて大きく、ボランティアへの応募の理由は、男女により異なる傾向があることがわかった。

図表 16 ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募理由（性・年代別）

あなたがラグビーワールドカップのボランティアに応募した理由を選択してください。（複数選択可）

	ス ポ ー ツ が 好 き だ か ら	見 た い か ら 選 手 の プ レ ー を そ ば で	日 本 で 開 催 さ れ る か ら	開 催 さ れ る か ら 近 隣 で	住 ま れ る か ら	地 域 に 貢 献 し た い か ら	国 際 交 流 し た い か ら	語 学 を 活 か し た い か ら	人 と ふ れ あ い た い か ら	人 の 役 に 立 ち た い か ら	そ の 他
全体 (n=243)	74.5	42.0	46.9	23.0	28.4	25.9	17.3	21.4	19.3	19.3	0.0
男性全体 (n=181)	79.0	40.3	47.0	22.1	26.0	25.4	16.0	19.3	18.2	18.2	0.0
男性20代 (n=69)	85.5	43.5	36.2	21.7	20.3	10.1	11.6	13.0	10.1	10.1	0.0
男性30代 (n=41)	70.7	39.0	53.7	31.7	22.0	29.3	17.1	19.5	19.5	19.5	0.0
男性40代 (n=31)	80.6	25.8	48.4	22.6	29.0	35.5	12.9	35.5	19.4	19.4	0.0
男性50代 (n=20)	75.0	45.0	55.0	25.0	30.0	35.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0
男性60代 (n=20)	75.0	50.0	60.0	0.0	45.0	45.0	40.0	25.0	40.0	40.0	0.0
女性全体 (n=62)	61.3	46.8	46.8	25.8	35.5	27.4	21.0	27.4	22.6	22.6	0.0
女性20代 (n=19)	52.6	42.1	36.8	15.8	21.1	10.5	5.3	26.3	21.1	21.1	0.0
女性30代 (n=14)	57.1	35.7	35.7	21.4	50.0	35.7	21.4	21.4	7.1	7.1	0.0
女性40代 (n=11)	63.6	45.5	54.5	9.1	27.3	45.5	36.4	27.3	36.4	36.4	0.0
女性50代 (n=10)	80.0	60.0	70.0	40.0	40.0	30.0	30.0	20.0	30.0	30.0	0.0
女性60代 (n=8)	62.5	62.5	50.0	62.5	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0

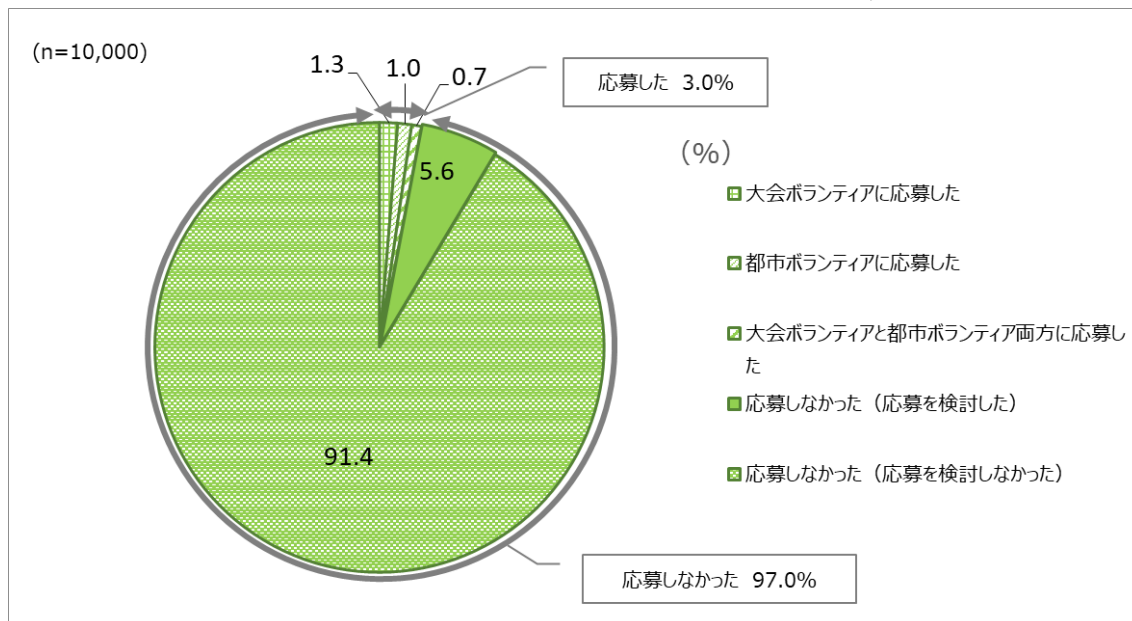
8) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況についてたずねた。オリンピック・パラリンピックのボランティアには、大会組織委員会が募集する大会ボランティア（募集人数8万人）と、競技会場がある自治体が募集する都市ボランティア（東京の募集人数3万人）があるため、それぞれの応募状況を確認した。

オリンピック・パラリンピックの「大会ボランティアに応募した」のは1.3%、「都市ボランティアに応募した」は1.0%、「大会ボランティアと都市ボランティア両方に応募した」は0.7%で、全体の3.0%が東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募していた（図表17）。「応募しなかった」97.0%のうち、5.6%は応募を検討したが、結果として応募しなかったと回答しており、応募者の2倍弱の「応募予備軍」が存在したことがわかった。

図表 17 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況

あなたは、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募しましたか。（1つ選択）



東京オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況について性別にみると、大会ボランティア、都市ボランティアを合わせた「応募した」の割合は男性 4.3%に対し女性 1.7%と、男性が女性の 2 倍以上となっている（図表 18）。性・年代別にみると、「応募した」は男性 20 代 9.8%、男性 30 代 5.7%、男性 40 代 3.6%、女性 20 代 3.0%、女性 30 代 2.2%、女性 40 代 1.2%となっており、男女ともに 20 代、30 代の順に多く、東京オリンピック・パラリンピックのボランティアの応募者は若い年代ほど多いことがわかる。

**図表 18 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況
(性・年代別)**

あなたは、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募しましたか。(1つ選択)

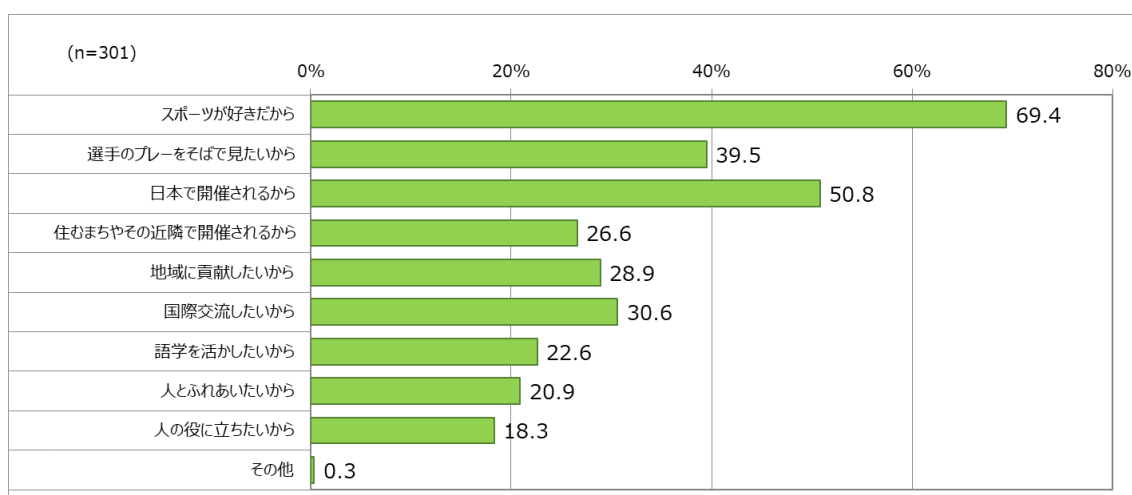
	応募した計				応募しなかった計			%
	に大会 応募 した テ ィ ア	に都市 応募 した テ ィ ア	アと大 両都会 方市ボ にボラ 応募 した テ ィ ア		検 討 し た	検 討 し な か つ た	検 討 し な か つ た	
全体 (n=10,000)	3.0	1.3	1.0	0.7	97.0	5.6	91.4	
男性全体 (n=5,020)	4.3	1.8	1.5	1.0	95.7	5.8	89.9	
男性20代 (n=796)	9.8	3.6	3.3	2.9	90.2	6.9	83.3	
男性30代 (n=966)	5.7	2.5	2.3	0.9	94.3	5.5	88.8	
男性40代 (n=1,189)	3.6	1.3	1.4	0.9	96.4	5.6	90.8	
男性50代 (n=956)	2.2	1.4	0.4	0.4	97.8	6.4	91.4	
男性60代 (n=1,113)	1.7	0.7	0.5	0.4	98.3	5.0	93.3	
女性全体 (n=4,980)	1.7	0.8	0.5	0.4	98.3	5.3	93.0	
女性20代 (n=756)	3.0	1.2	0.8	1.1	97.0	5.7	91.3	
女性30代 (n=937)	2.2	1.0	0.7	0.5	97.8	5.4	92.3	
女性40代 (n=1,162)	1.2	0.8	0.2	0.3	98.8	4.8	94.0	
女性50代 (n=956)	1.4	0.6	0.5	0.2	98.6	6.1	92.6	
女性60代 (n=1,169)	1.2	0.5	0.5	0.2	98.8	4.9	93.9	

9) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募理由

東京オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募者に対し、応募の理由をたずねた。最も多かったのは「スポーツが好きだから」の69.4%で、以下、「日本で開催されるから」(50.8%)、「選手のプレーをそばで見たいから」(39.5%)、「国際交流したいから」(30.6%)などの順となっている(図表19)。ボランティア活動実施希望者に対し、その理由を単一回答でたずねた2018年の調査では、最も多かったのは「日本で開催されるから」(オリンピック39.8%、パラリンピック39.5%)で、以下、「スポーツが好きだから」(オリンピック17.7%、パラリンピック15.9%)、「選手のプレーをそばで見たいから」(オリンピック16.2%、パラリンピック13.5%)の順であり、今回の調査は「スポーツが好きだから」の割合が相対的に高くなっている。

図表 19 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募理由

あなたが東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募した理由を選択してください。(複数選択可)



東京オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募理由を性別にみると、「スポーツが好きだから」は男性の割合が大きいですが、その他の理由では、女性の割合が男性を上回っている（図表 20）。特に、「語学を活かしたいから」「人とふれあいたいから」「人の役に立ちたいから」では、女性の割合が男性に比べて大きく、ボランティアへの応募の理由は、男女により異なる傾向があることがわかった。

**図表 20 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募理由
(性・年代別)**

あなたが東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募した理由を選択してください。(複数選択可)

	ス ポ ー ツ が 好 き だ か ら	見 た 手 の ブ レ ー を そ ば で	日 本 で 開 催 さ れ る か ら	開 催 さ れ る か ら の 近 隣 で	地 域 に 貢 献 し た い か ら	国 際 交 流 し た い か ら	語 学 を 活 か し た い か ら	人 と ふ れ あ い た い か ら	人 の 役 に 立 ち た い か ら	そ の 他
全体 (n=301)	69.4	39.5	50.8	26.6	28.9	30.6	22.6	20.9	18.3	0.3
男性全体 (n=216)	75.0	39.4	49.1	25.5	27.8	28.7	17.6	17.1	14.8	0.0
男性20代 (n=78)	79.5	44.9	47.4	25.6	21.8	16.7	10.3	9.0	9.0	0.0
男性30代 (n=55)	80.0	40.0	45.5	30.9	34.5	32.7	18.2	23.6	12.7	0.0
男性40代 (n=43)	62.8	30.2	58.1	18.6	30.2	30.2	16.3	18.6	14.0	0.0
男性50代 (n=21)	71.4	33.3	47.6	23.8	28.6	42.9	23.8	9.5	14.3	0.0
男性60代 (n=19)	73.7	42.1	47.4	26.3	26.3	47.4	42.1	36.8	47.4	0.0
女性全体 (n=85)	55.3	40.0	55.3	29.4	31.8	35.3	35.3	30.6	27.1	1.2
女性20代 (n=23)	65.2	47.8	30.4	17.4	21.7	17.4	26.1	21.7	17.4	0.0
女性30代 (n=21)	47.6	23.8	42.9	23.8	19.0	28.6	28.6	23.8	14.3	4.8
女性40代 (n=14)	64.3	50.0	64.3	21.4	28.6	57.1	50.0	28.6	21.4	0.0
女性50代 (n=13)	53.8	53.8	92.3	53.8	38.5	53.8	46.2	53.8	53.8	0.0
女性60代 (n=14)	42.9	28.6	71.4	42.9	64.3	35.7	35.7	35.7	42.9	0.0

10) ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募しなかった理由

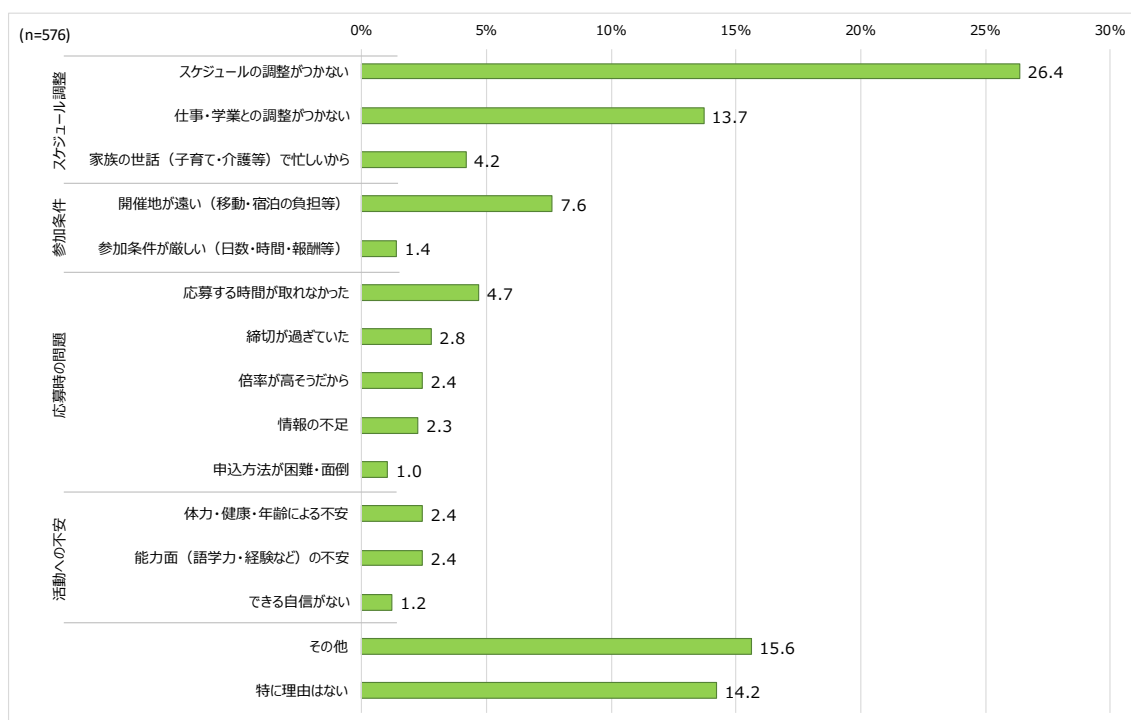
ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボランティアについて、「応募しなかった（応募を検討した）」と回答した者に、その理由を自由記述でたずねた。自由記述の内容をアフターコーディングし、結果を集計した。

(1) ラグビーワールドカップのボランティアに応募しなかった理由

ラグビーワールドカップのボランティアへの応募を検討したものの、応募しなかった理由は、①スケジュール調整、②参加条件、③応募時の問題、④活動への不安、⑤その他に分類された。このうち、全体の4割以上が理由に挙げた①スケジュール調整では、「スケジュールの調整がつかない」(26.4%)、「仕事・学業との調整がつかない」(13.7%)の割合が特に大きい(図表 21)。②参加条件では、「開催地が遠い(移動・宿泊の負担等)」(7.6%)、③応募時の問題では、「応募する時間がとれなかった」(4.7%)、④活動への不安では、「体力・健康・年齢による不安」(2.4%)と「能力面(語学力・経験など)の不安」(2.4%)がそれぞれ多くなっている。

**図表 21 ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアに応募しなかった理由
(応募を検討した者)**

応募を検討したのに、あなたがラグビーワールドカップのボランティアに応募しなかった理由をおこたえください。



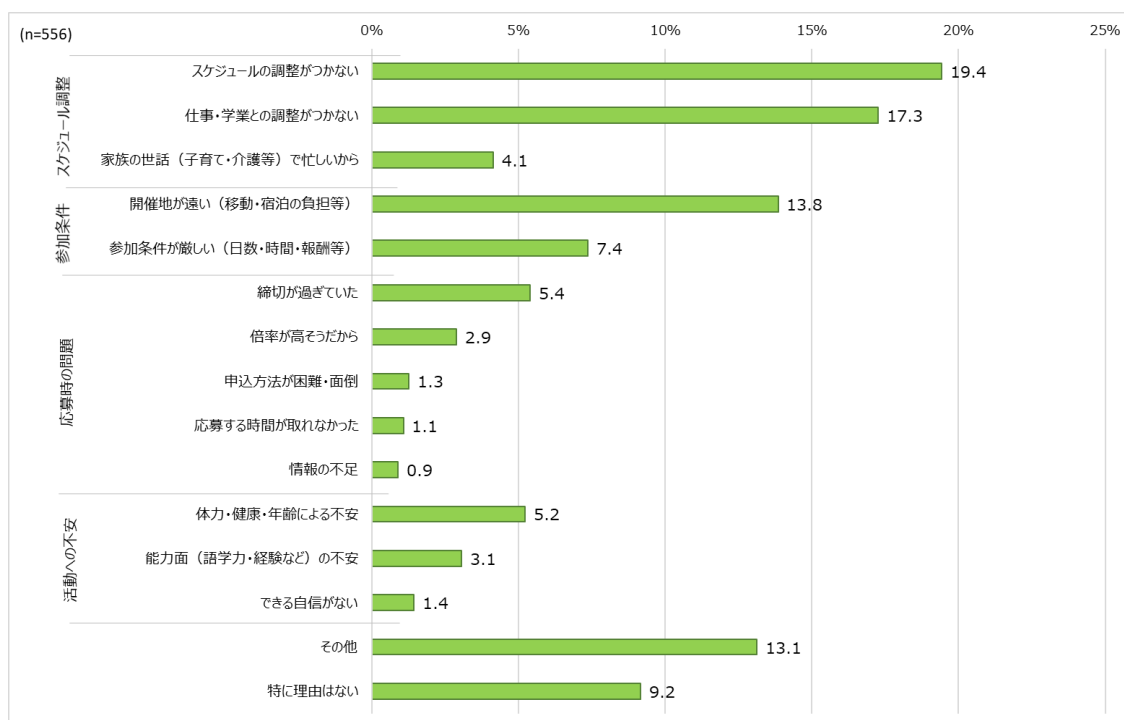
(2) 東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募しなかった理由

東京オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募を検討したものの、応募しなかった理由も、ラグビーワールドカップで示した①スケジュール調整、②参加条件、③応募時の問題、④活動への不安、⑤その他に分類した。このうち最も多かった①スケジュール調整では、「スケジュールの調整がつかない」(19.4%)、「仕事・学業との調整がつかない」(17.3%)の割合が大きい(図表 22)。②参加条件では、「開催地が遠い(移動・宿泊の負担等)」(13.8%)、③応募時の問題では、「締切が過ぎていた」(5.4%)、④活動への不安では、「体力・健康・年齢による不安」(5.2%)がそれぞれ多くなっている。

ボランティアに応募しなかった理由について、2つの大会を比較すると、「開催地が遠い(移動・宿泊の負担等)」、「参加条件が厳しい(日数・時間・報酬等)」、「締切が過ぎていた」、「体力・健康・年齢による不安」などで、東京オリンピック・パラリンピックの方がラグビーワールドカップよりも割合が大きくなっている。開催都市が限られること、大会ボランティアの活動が10日間以上と長期にわたること、真夏の活動であることなどが、ボランティアの応募に影響していると推察される。

図表 22 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募しなかった理由(応募を検討した者)

応募を検討したのに、あなたが東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに応募しなかった理由をおこたえください。

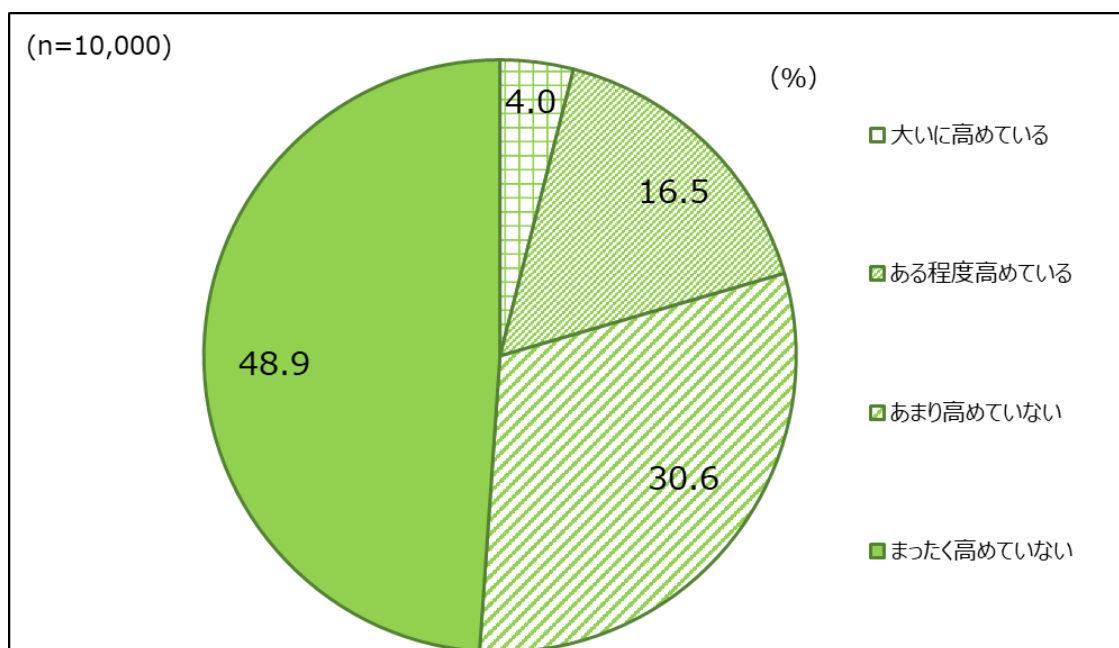


11) ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに関する報道の効果

ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等のボランティアについての報道が、自身のボランティアへの活動意欲や関心を高めているかたずねた。「大いに高めている」が 4.0%、「ある程度高めている」が 16.5%で、約 2 割が高めていると回答した（図表 23）。一方で、「まったく高めていない」が 48.9%と半数近くいることもわかった。

図表 23 ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに関する報道の効果

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック等のボランティアについて、多くの情報がメディアを通じて報道されています。これらの情報は、あなたのスポーツボランティアへの参加の意欲や関心を高めていますか。（1つ選択）



ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等のボランティアについての報道が、自身のボランティアへの参加意欲や関心を高めているかについて、性別にみると、「大いに高めている」と「ある程度高めている」は男性が女性より多くなっている（図表 24）。性・年代別にみると、「大いに高めている」は 20 代の男性と女性、「ある程度高めている」は 20 代、30 代の男性と女性、「あまり高めていない」は 60 代の男性と女性でそれぞれ多くなっている。

図表 24 ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに関する報道の効果

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック等のボランティアについて、多くの情報がメディアを通じて報道されています。これらの情報は、あなたのスポーツボランティアへの参加の意欲や関心を高めていますか。（1つ選択）

(%)

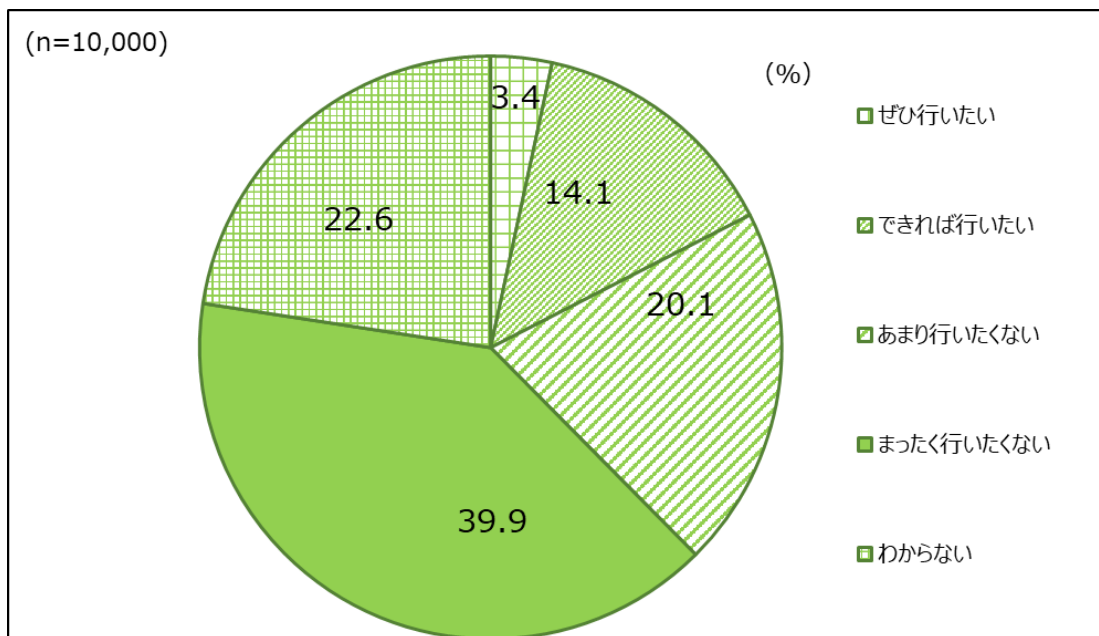
	大いに高めている	ある程度高めている	あまり高めていない	まったく高めていない
全体 (n=10,000)	4.0	16.5	30.6	48.9
男性全体 (n=5,020)	4.7	17.6	28.5	49.3
男性20代 (n=796)	7.8	20.4	24.5	47.4
男性30代 (n=966)	5.4	19.8	23.8	51.0
男性40代 (n=1,189)	4.5	14.5	28.1	52.9
男性50代 (n=956)	3.7	15.7	29.8	50.8
男性60代 (n=1,113)	2.8	18.8	34.6	43.8
女性全体 (n=4,980)	3.2	15.4	32.8	48.6
女性20代 (n=756)	5.0	16.0	27.8	51.2
女性30代 (n=937)	2.8	16.2	31.3	49.7
女性40代 (n=1,162)	3.2	14.8	30.1	51.9
女性50代 (n=956)	3.6	14.5	34.0	47.9
女性60代 (n=1,169)	2.2	15.6	39.1	43.1

12) スポーツボランティアの実施希望状況

今後、スポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思うかをたずねたところ、「ぜひ行いたい」と回答した者が3.4%、「できれば行いたい」が14.1%で、「行いたい」と回答した者は「ぜひ行いたい」と「できれば行いたい」合わせて17.5%、回答者のうちの6人に1人の割合であった(図表25)。一方、「あまり行いたくない」20.1%、「まったく行いたくない」39.9%で、両者を合わせると「行いたくない」が60.0%と6割を占めていた。「わからない」と回答した者は22.6%であった。

図表 25 スポーツボランティア実施希望状況

今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。(1つ選択)



性別にみると、男性のスポーツボランティア実施希望者は19.3%（「ぜひ行いたい」4.3%＋「できれば行いたい」15.0%）、女性では15.7%（「ぜひ行いたい」2.5%＋「できれば行いたい」13.2%）となっており、スポーツボランティア実施希望者は、女性よりも男性が多くなっている（図表26）。性・年代別にみると、スポーツボランティア実施希望者は、男性では20代が最も多く、「ぜひ行いたい」7.3%、「できれば行いたい」17.5%を合わせて24.8%と、20代の男性の4人に1人が実施を希望していることがわかる。次いで、60代の19.3%、30代の18.9%、40代、50代の17.5%の順であった。女性でも20代の希望が最も多く、「ぜひ行いたい」3.7%、「できれば行いたい」13.2%を合わせて16.9%と、20代女性の6人に1人は活動を希望していることがわかった。一方、「まったく行いたくない」と回答した者の割合が、男性の30代、40代、50代、60代で4割以上あったことも特記する。

図表 26 スポーツボランティア実施希望状況（性・年代別）

今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。（1つ選択）

	(%)				
	ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体 (n=10,000)	3.4	14.1	20.1	39.9	22.6
男性全体 (n=5,020)	4.3	15.0	18.1	41.4	21.2
男性20代 (n=796)	7.3	17.5	15.2	37.1	23.0
男性30代 (n=966)	4.7	14.2	15.4	44.7	21.0
男性40代 (n=1,189)	4.5	13.0	16.2	43.4	23.0
男性50代 (n=956)	3.2	14.3	18.3	40.6	23.5
男性60代 (n=1,113)	2.6	16.7	24.4	40.1	16.2
女性全体 (n=4,980)	2.5	13.2	22.0	38.4	24.0
女性20代 (n=756)	3.7	13.2	21.0	37.7	24.3
女性30代 (n=937)	2.5	12.7	20.3	37.9	26.7
女性40代 (n=1,162)	2.2	13.3	18.6	39.5	26.3
女性50代 (n=956)	2.7	12.9	21.8	37.7	25.0
女性60代 (n=1,169)	1.9	13.5	27.5	38.7	18.4

13) 活動経験別にみるスポーツボランティアの実施希望状況

スポーツボランティアの実施希望を過去のスポーツボランティア活動の経験別にみると、「これまでに行ったことがある」ボランティア経験者が、「これまで行ったことはない」未経験者よりも実施希望者が多いことがわかる（図表 27）。特に、「過去1年間に行った」スポーツボランティア実施者は、「ぜひ行いたい」と答えた者が 31.1%と最も多く、「できれば行いたい」と回答した 42.7%と合わせると 7 割以上の者が希望している。一方、「これまで行ったことはない」と回答した未経験者の実施希望率は 10.4%（「ぜひ行いたい」1.1%+「できれば行いたい」9.3%）と低く、逆に「まったく行いたくない」と回答した者が 4 割以上を占めていることがわかった。

図表 27 スポーツボランティア実施希望状況（スポーツボランティア活動経験別）

今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。（1つ選択）

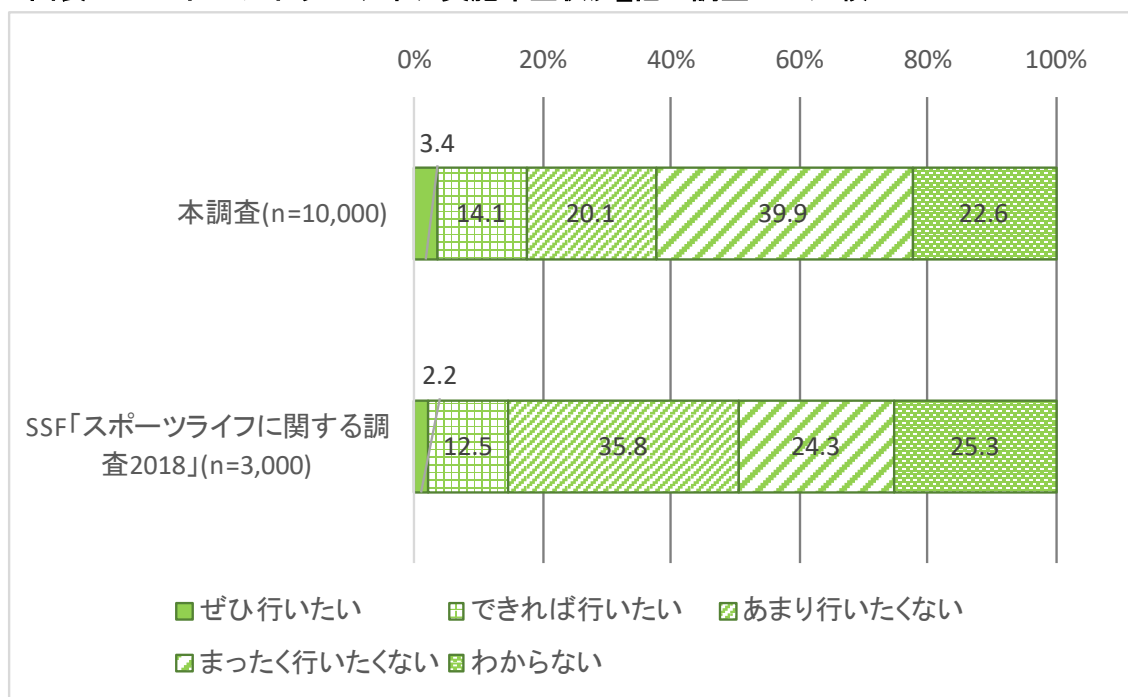
		(%)				
		ぜひ 行 い た い	で き れ ば 行 い た い	あ ま り 行 い た く な い	ま っ た く 行 い た く な い	わ か ら な い
全体 (n=10,000)		3.4	14.1	20.1	39.9	22.6
ス ポ ー ツ ボ ラ ン テ ィ ア 実 施 者	これまでに行ったことがある (n=1,521)	16.1	40.7	18.3	9.7	15.1
	過去1年間で行った (n=546)	31.1	42.7	9.0	6.4	10.8
	以前に行ったことがあるが、過去1 年間には行っていない (n=975)	7.7	39.6	23.6	11.6	17.5
	これまでに行ったことはない (n=8,479)	1.1	9.3	20.4	45.3	23.9

14) スポーツボランティアの実施希望状況_他の調査との比較

18歳以上を対象とした笹川スポーツ財団の全国調査「スポーツライフに関する調査」(2018)(以降、「SSF調査」)の結果と比較すると、スポーツボランティアの実施希望者は、本調査の17.5%（「ぜひ行いたい」3.4%+「できれば行いたい」14.1%）に対し、SSF調査では14.7%（「ぜひ行いたい」2.2%+「できれば行いたい」12.5%）であり、本調査が2.8ポイント高い結果となった(図表28)。

また、希望しない者は本調査の60.0%（「あまり行いたくない」20.1%+「まったく行いたくない」39.9%）に対し、SSF調査では60.1%（「あまり行いたくない」35.8%+「まったく行いたくない」24.3%）となっており、ほぼ同様の割合であった。

図表28 スポーツボランティア実施希望状況_他の調査との比較

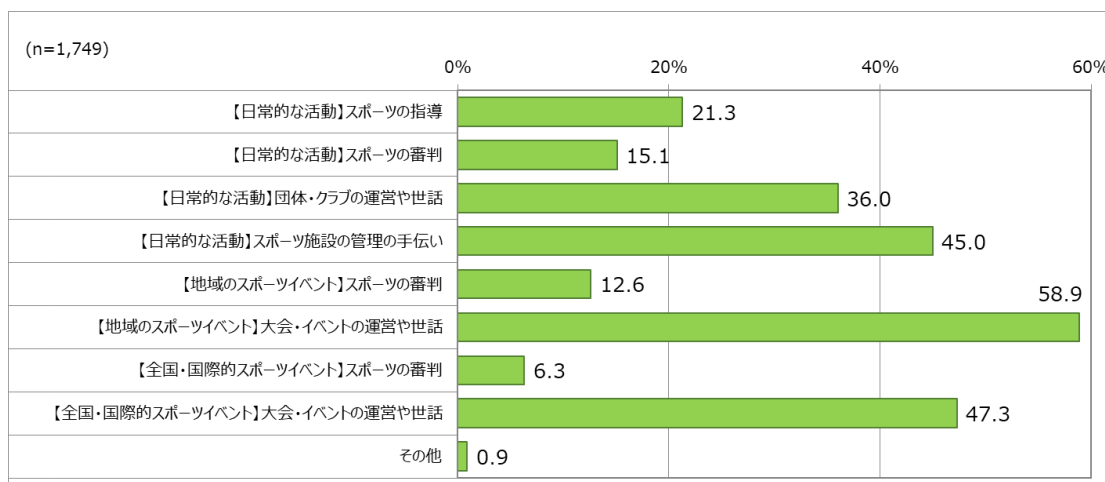


15) 今後希望するスポーツボランティアの活動内容

今後行いたいスポーツにかかわるボランティア活動の内容についてたずねたところ、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」が58.9%と最も多く、次いで「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(47.3%)、「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(45.0%)、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(36.0%)の順であった(図表29)。地域のみならず、全国・国際的スポーツイベントへのボランティア実施希望者が多いことも、ラグビーワールドカップと東京2020大会に向けての期待の表れではないかと考えられる。

図表 29 今後希望するスポーツボランティアの活動内容

今後行いたいスポーツにかかわるボランティア活動をお選びください。(複数選択可)



性別にみると、「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」が男性 56.1%、女性 62.3%と男女ともに最も割合が高い。次いで男性では「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(41.9%)、「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(40.8%)、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(37.2%)の順となる(図表 30)。女性では、次いで「【全国・国際的スポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」(55.4%)、「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(48.8%)、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」(34.6%)の順であった。なお、男女の上位 3 位までの活動内容については、女性の希望率が男性を上回っていた。

性・年代別にみると、最も実施希望者の多かった「【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話」の割合は、若年層よりも男性の 50 代、60 代、女性の 50 代、60 代で高く、6 割を超えていた。また「【日常的な活動】スポーツの指導」では、男性の 20 代、30 代、40 代で 3 割を超えているものの、女性は 20 代、30 代でも 1 割程度と女性の希望者が少ない現状であることが確認できた。「【日常的な活動】スポーツの審判」も同様で、男性の 20 代、30 代は 3 割前後であるのに対し、女性ではそれぞれ 1 割台となっている。

図表 30 今後希望するスポーツボランティアの活動内容（性・年代別）

今後行いたいスポーツにかかわるボランティア活動をお選びください。(複数選択可)

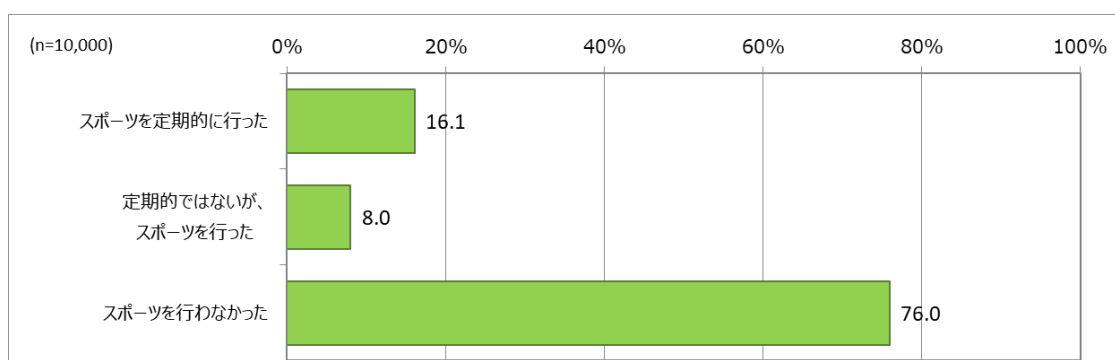
	「日常的な活動」スポーツ指導	「日常的な活動」審判	「日常的な活動」クラブの運営や世話	「日常的な活動」施設の管理の手伝い	「地域のスポーツイベント」審判	「地域のスポーツイベント」大会・世話	「全国・国際的スポーツイベント」審判	「全国・国際的スポーツイベント」運営や世話	「全国・国際的スポーツイベント」その他
全体 (n=1,749)	21.3	15.1	36.0	45.0	12.6	58.9	6.3	47.3	0.9
男性全体 (n=969)	31.4	21.6	37.2	41.9	18.5	56.1	8.5	40.8	0.5
男性20代 (n=197)	41.6	34.0	33.5	38.6	19.3	41.1	13.7	25.9	0.5
男性30代 (n=182)	39.0	29.1	36.8	37.4	24.2	49.5	9.3	38.5	0.0
男性40代 (n=207)	30.4	15.0	35.7	43.5	18.8	58.0	8.7	43.0	0.0
男性50代 (n=168)	26.8	18.5	42.3	44.0	17.3	61.3	8.9	52.4	2.4
男性60代 (n=215)	20.0	12.6	38.1	45.6	13.5	69.8	2.3	45.1	0.0
女性全体 (n=780)	8.7	7.1	34.6	48.8	5.3	62.3	3.7	55.4	1.3
女性20代 (n=128)	12.5	16.4	36.7	47.7	10.9	55.5	7.8	58.6	0.8
女性30代 (n=142)	12.7	12.0	41.5	54.9	7.7	60.6	7.0	51.4	1.4
女性40代 (n=181)	6.1	1.7	32.0	40.3	1.7	56.4	1.1	55.2	2.8
女性50代 (n=149)	8.1	4.7	38.9	55.7	4.7	67.1	2.0	65.8	0.7
女性60代 (n=180)	6.1	3.9	26.7	47.8	3.3	70.6	2.2	47.8	0.6

16) スポーツボランティアとスポーツ実施、スポーツ観戦との関係

「ささえるスポーツ」といわれるスポーツボランティアが、「するスポーツ」（スポーツの実施）や「みるスポーツ」（スポーツの観戦）とどのように関連しているかを確認するため、過去1年間のスポーツ実施状況とスポーツ観戦状況をたずねた。過去1年間に「スポーツを定期的に行った」者は16.1%、「定期的ではないが、スポーツを行った」者は8.0%、「スポーツを行わなかった」者は76.0%であった（図表31）。また、過去1年間に「直接会場で、定期的にスポーツを観戦した」者は8.0%「定期的ではないが、直接会場でスポーツを観戦した」者は10.5%、「直接スポーツの観戦をしなかった」者は81.5%であった（図表32）。

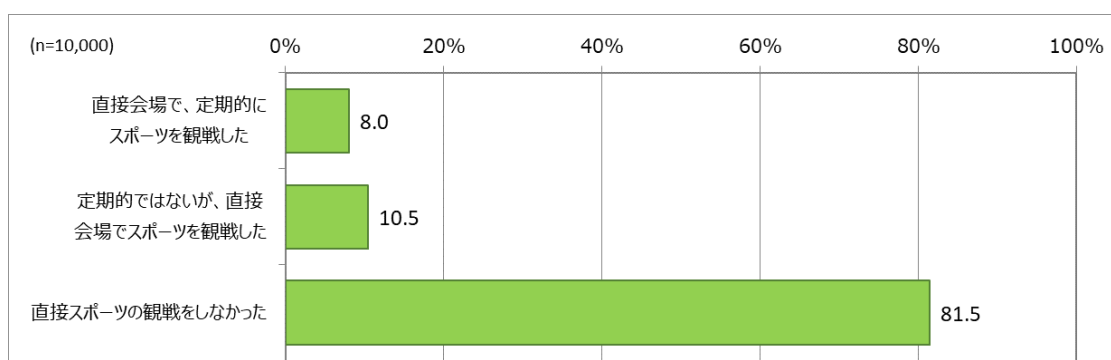
図表31 「するスポーツ」との関わり（スポーツ実施状況）

過去1年間のあなたとスポーツとの関わりについて、あてはまるものをお選びください。



図表32 「みるスポーツ」との関わり（スポーツ観戦状況）

過去1年間のあなたとスポーツとの関わりについて、あてはまるものをお選びください。



続いて、過去1年間にスポーツボランティアを「行った」と回答した者（スポーツボランティア実施者。全体の5.5%）に絞って、スポーツ実施状況別、スポーツ観戦状況別にみた。

スポーツ実施状況別にみると、「定期的にスポーツを行った」と回答した者のスポーツボランティア実施率は15.6%であった（図表33）。また、「定期的ではないが、スポーツを行った」者では10.3%、「スポーツを行わなかった」者では2.8%となっており、スポーツを実施する者ほどスポーツボランティア実施率が高くなっている。スポーツ観戦状況別にみると、「直接会場で、定期的にスポーツを観戦した」者のスポーツボランティア実施率は21.7%、「定期的ではないが、直接会場でスポーツを観戦した」者では9.5%、「直接スポーツの観戦をしなかった」者では3.3%で、スポーツを観戦する者ほどスポーツボランティア実施率が高かった。これらの結果から、スポーツボランティア実施者は、スポーツ実施者よりスポーツ観戦者に多いことがわかる。

また、スポーツ実施状況とスポーツ観戦状況を合わせて、スポーツボランティア実施率をみると、「定期的にスポーツを行った」者で、同時に「直接会場で定期的にスポーツを観戦した」者のスポーツボランティア実施率は30.5%（406サンプル中124サンプル）と最も高かった。一方、「スポーツを行わなかった」者で、同時に「直接スポーツの観戦をしなかった」者のスポーツボランティア実施率は2.6%と最も低かった。スポーツをする者、みる者ほど、スポーツボランティアする者が多いことが確認された。

図表 33 「するスポーツ」と「みるスポーツ」の関わり別にみるスポーツボランティア実施率

(%)

	直接会場で、定期的にスポーツを観戦した (n=801)	定期的ではないが、直接会場でスポーツを観戦した (n=1,050)	直接スポーツの観戦をしなかった (n=8,149)	小計
スポーツを定期的に行った (n=1,605)	30.5	17.7	8.2	15.6
定期的ではないが、スポーツを行った (n=800)	28.6	12.0	5.0	10.3
スポーツを行わなかった (n=7,595)	6.4	4.1	2.6	2.8
小計	21.7	9.5	3.3	5.5

17) 無自覚的スポーツボランティアの実施状況

過去1年間、スポーツボランティアを「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行っていない」と回答した者（スポーツボランティア過去経験者）と、「これまでに行ったことはない」と回答した者（スポーツボランティア未経験者）（図表1参照）に対し、「スポーツイベントやスポーツ行事」での受付や案内、飲料や食事の準備など、また、「本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等」での練習や大会等での送迎、活動場所の準備や手配などの活動の有無についてたずねた。図表34,35 および図表36,37 に示すこれらの活動は、スポーツボランティアとみなして問題のない活動といえる。本項では、これらが無償または実費程度の報酬で行った者について、スポーツボランティアを「過去1年間に行っていない」、「これまでに行ったことはない」と回答しながらも、それをボランティアと認識せずに実施した「無自覚的スポーツボランティア」と定義する。

(1) スポーツボランティア過去経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況

スポーツボランティア過去経験者について、スポーツイベントやスポーツ行事での活動状況をみると、「会場の準備や撤収をしたことがある」が36.9%で最も多く、以下、「受付や案内をしたことがある」(31.6%)、「飲料や食事の準備をしたことがある」(26.1%)の順となっている(図表34)。また、本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動状況では、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のメンバーの送迎をしたことがある」が24.4%と最も多く、以下「夏祭り等の行事の準備や片付け、事務作業をしたことがある」(23.8%)、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のために飲料や弁当の準備をしたことがある」(20.6%)が続く(図表35)。全体では、スポーツボランティア過去経験者の約7割がこれらのいずれかの活動を少なくともひとつは行っていた。

図表 34 スポーツボランティア過去経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況（スポーツイベントやスポーツ行事での活動）

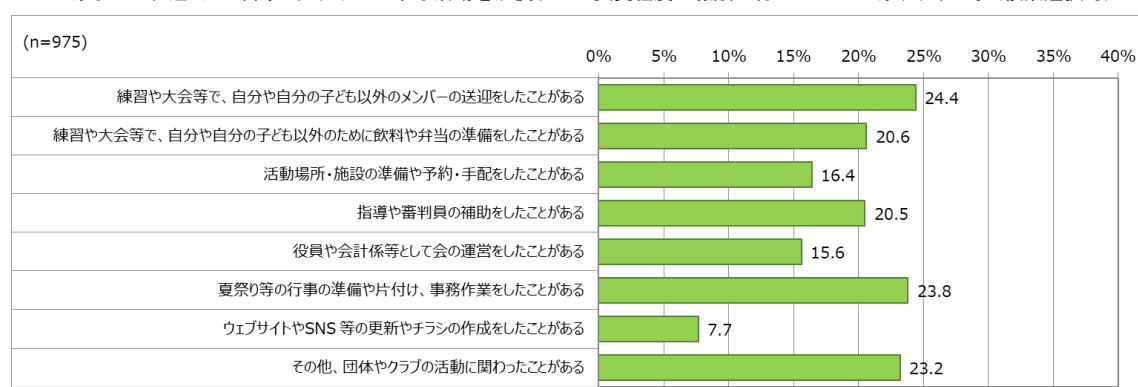
あなたは、過去1年間に、以下のような活動が無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(複数選択可)



注) スポーツボランティア過去経験者：過去1年間にスポーツボランティアを行っていないが、それ以前に行ったことがあると回答した者

図表 35 スポーツボランティア過去経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況（自身や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動）

あなたは、過去1年間に、以下のような活動が無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(複数選択可)



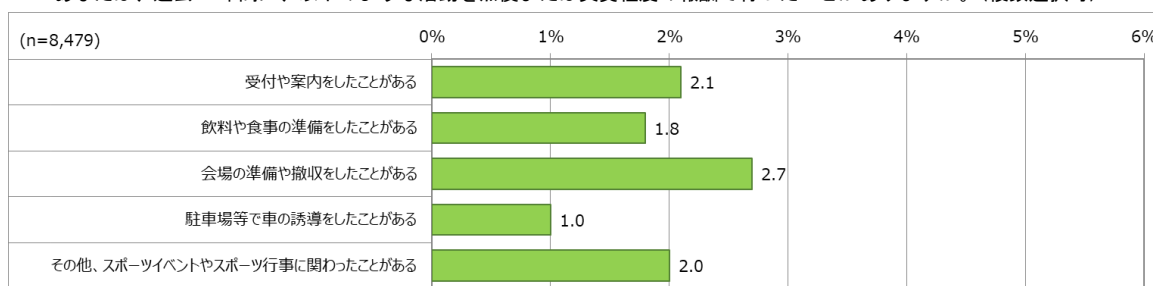
注) スポーツボランティア過去経験者：過去1年間にスポーツボランティアを行っていないが、それ以前に行ったことがあると回答した者

(2) スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況

スポーツボランティア未経験者について、スポーツイベントやスポーツ行事での活動状況をみると、「会場の準備や撤収をしたことがある」が2.7%で最も多く、以下、「受付や案内をしたことがある」(2.1%)、「飲料や食事の準備をしたことがある」(1.8%)の順となっている(図表36)。また、本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動状況では、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のメンバーの送迎をしたことがある」が5.7%と最も多く、以下「夏祭り等の行事の準備や片付け、事務作業をしたことがある」(5.2%)、「練習や大会等で、自分や自分の子ども以外のために飲料や弁当の準備をしたことがある」(4.6%)が続く(図表37)。スポーツボランティア未経験者では、スポーツイベントやスポーツ行事での活動、または本人や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動を少なくともひとつ以上行っているのは13.6%であった。図表34~37をみると、スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティアの実施率は、スポーツボランティア経験者のそれを大きく下回ることがわかる。

図表 36 スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況（スポーツイベントやスポーツ行事での活動）

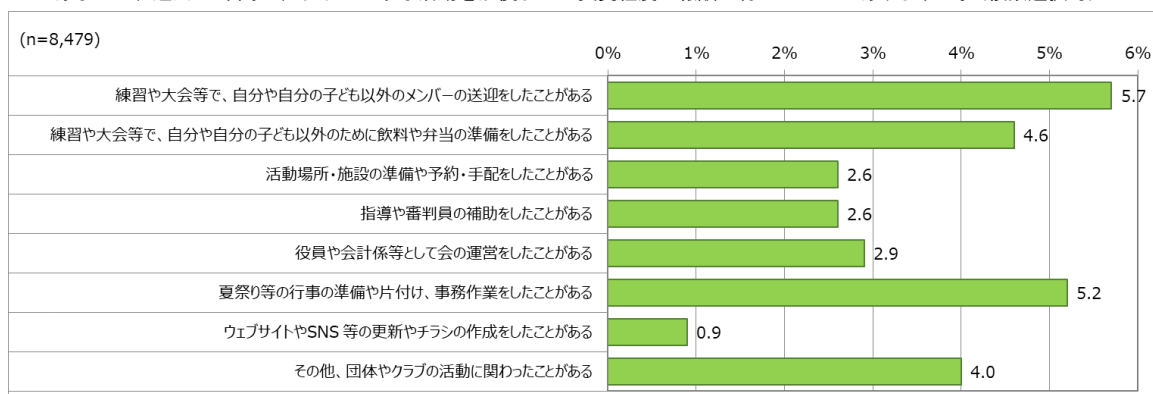
あなたは、過去1年間に、以下のような活動を無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(複数選択可)



注) スポーツボランティア未経験者：これまでにスポーツボランティアを行ったことがないと回答した者

図表 37 スポーツボランティア未経験者の無自覚的スポーツボランティア実施状況（自身や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ等での活動）

あなたは、過去1年間に、以下のような活動を無償または実費程度の報酬で行ったことがありますか。(複数選択可)



注) スポーツボランティア未経験者：これまでにスポーツボランティアを行ったことがないと回答した者

18) 無自覚的ボランティアを含むスポーツボランティアの実施状況

スポーツボランティアを「以前に行ったことがあるが、過去1年間には行ってない」者（スポーツボランティア過去経験者）と「これまでに行ったことはない」者（スポーツボランティア未経験者）を、無自覚的スポーツボランティア実施の有無別にそれぞれ2つに分け、スポーツボランティアの実施状況をより詳細にみた（図表38）。

無自覚的にスポーツボランティアを実施していたスポーツボランティア過去経験者は全体の6.7%、ボランティア未経験者では11.5%であった。これら無自覚ボランティアとスポーツボランティア実施者（5.5%）を合わせると、過去1年間に何らかのスポーツボランティアを実施した者は23.7%となる。無自覚的スポーツボランティア実施者の存在は、多くの人が、スポーツをささえる様々な活動を、スポーツボランティアとしてイメージできていないことを示唆している。

図表38 無自覚的ボランティアを含む過去1年間のスポーツボランティア実施状況

